

Can we sustain the planet?
~Climate Action in Language Education~

授業者 附属池田中学校 鳥居 敦子

1. 対象 附属池田中学校第2学年D組(36名)

2. 単元目標

・知識及び技能に関して

- ・時制(主に現在形, 過去形, 未来形, 現在完了形)の特徴やきまりを理解する。
- ・比較級や最上級の特徴やきまりを理解する。
- ・社会的な話題(環境問題など)について考えたことや感じたこと, その理由などを, 時制や比較級などを用いて伝える技能を身に付けるようにする。

・思考力, 判断力, 表現力等に関して

- ・「環境問題の解決のために考案したエシカル商品を売り出すための TV commercial の作成とそのプレゼンをすることで環境問題への啓発を図るというコミュニケーションを行う」という状況に応じて, 環境問題という社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて, 考えたことや感じたこと, その理由などを, 簡単な語句や文を用いて, 表現することができる力を養う。

・学びに向かう力, 人間性等に関して

- ・外国の人に環境問題の現状とその解決策としてのエシカル商品について理解し, 興味を持ってもらえるように, 日本と英語圏の国との TV commercial の特徴の文化的差異に対する理解を深め, 聞き手である外国の人に配慮しながら, 主体的に英語を用いて話そうとする態度を養う。

*本単元は IB World school としてのカリキュラムの一環である Service as Action との横断の授業のため, 以下本単元にかかわる Language Acquisition の Speaking の目標のみ記しておく。(詳細は後述)

環境問題についての TV commercial の作成とプレゼンにおいて,

- ①口頭言語を活用して他者とのコミュニケーションをはかり, 交流する
- ②話すときの正確性と流暢さを示す
- ③明瞭かつ効果的に伝達する

3. 指導に当たって

(1) 教材観

本単元は, “Communication involved a meaningful message makes people think about human impact on the environment and sustainable lifestyles in an increasingly globalised world.” (意味のあるメッセージを含んだコミュニケーションは, グローバル社会の中で環境の人間が与える影響と持続可能な生活様式について, 人々が考えるきっかけとなる) を探究テーマとして, グローバル社会の中でいきる市民として, 社会問題に対してどのような行動ができるのかを考え, 発表をする単元である。そしてその探究テーマのもと, 「環境問題の解決のために考案したエシカル商品を売り出すための TV commercial の作成と, なぜそれを選んだのかを環境問題を含めてプレゼンを行い, 聞き手に自分たちの TV commercial を売り込む」という言語活動を行う。この活動は2段階に分かれ, 1段階目では, Service as Action (詳細は後述) に向けての自分のクラスの店舗のコマーシャル作成を行い, 2段階目はそれを踏まえて, 各グループが独自に考案するエシ

カル商品のコマーシャル作成とその PR のためのプレゼンテーションを行う。そして、総括的課題としては、そのエシカル商品のコマーシャルの個人発表を行う。

では、なぜこのような言語活動を選択したのか、その理由についてここで述べる。そもそも、Language とは communication のためのツールであり、communication はそれぞれがおかれている social context の中で発生するものである。したがって、社会や世界とのかかわりの中で、英語のコミュニケーション能力の活用を通して、文化の多様性を尊重し、相手の意見や考えをよく聞いて理解し、自分の意見や考えを発信することができる生徒を育てたいと考えている。これは、中学校学習指導要領解説外国語編においても、「グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、その能力の向上が課題となっている。」「外国語の学習においては、語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかに主眼が置かれるのではなく、児童生徒の学びの過程全体を通じて、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、思考・判断・表現することを繰り返すことを通じて獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要である。」と言及されていることに合致する。また、Lazaraton(2014)が、“When teaching speaking skills, EFL teachers need to be particularly adept at organizing class activities that are authentic, motivating, and varied.”と述べているように、授業の中では、生徒が現在あるいは将来的に社会の一員としてかかわるであろう、オーセンティックで様々なジャンルの動機づけを行うことができる題材をもとに、コミュニケーション能力の育成を図りたいと考えている。

そこで本単元では、Service as Action (詳細は後述)という総合的な学習の時間での活動ならびに技術家庭科・家庭分野の既習事項をいかし、「TV commercial 作成」と「TV commercial の売り込みのためのプレゼンテーション」という2種類の Speaking 活動を通して、「私たちが環境に対してできること」を考えさせたい。

また、中学校学習指導要領外国語編によると、外国語科における目標とは、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することであり、具体的には、

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

ことである。そして、各言語の目標のうち英語科の「話すこと【発表】」ウでは、「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話す」としており、これが本単元の目標にあたる。中学校学習指導要領解説によると、「社会的な話題」とは、「社会で起こっている出来事や問題にかかわる話題のことであり、広く国内外で起こっている事象で、多様な考え方ができるものを取り上げる」としており、その例として、「環境問題や人権問題などの「社会的な話題」に関して聞いたり読んだりして得た知識や情報をメモしたり図式化したりした上で、その内容を要約して話したり、それらに対する自分の考えや気持ちなどを話して伝えたりする」活動をあげており、本単元で扱う「環境問題」を言語の使用場面として想定しているといえる。

次に、本単元でとりあつかう題材の詳細について説明をする。本単元において取り扱う題材は「エシカル商

品の PR の TV commercial とそのプレゼンテーション」である。前述のように、まずは、Service as Action として総合的な学習で取り扱う販売商品の TV commercial を作成し、TV commercial の特性を習得したのち、エシカル商品についての TV commercial の作成とそのプレゼンにつなげる言語活動を行うため、題材としては、「商品の TV commercial」と「エシカル商品」という2つの要素がある。そこでまずは、「商品の TV commercial」について述べる。

本校は、IB World School 認定校であり、そのカリキュラムの一環として、Service as Action(以下、SA と省略)を各学年で行っている。SA とは、「IB 学習者は、人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動する」という理念のもと、「重なり合う幅広い地域やグローバルコミュニティの中で信念のある行動に取り組むための重要な手段として、他の人々を行う奉仕活動」のことである(MYP:原則から実践へ)。そのカリキュラムの中で、第2学年は10月に、社会貢献のための起業活動を行っている。具体的には、地域や日本、あるいは世界の社会問題について考え、それを解決するための商品の販売を行う。この活動では、販売商品を自分たちで制作せず、他の企業とコラボレーションして商品の提供をしてもらうクラスもあるが、立案・交渉・広報・販売の全ての行程にわたって、生徒が自ら行うプロジェクトであり、総合的な学習の時間にその準備を行う。本単元で行う「商品の TV commercial」はその広報活動の1つであり、総合的な学習の時間と横断的に行い、英語で TV commercial を作ることで幅広く商品の購入をしてもらえよう工夫する。また、技術家庭科と一部の授業を team-teaching で行うことにより、商品を売る際の TV commercial の authenticity を内容面・技術面からより深く考えるきっかけとなり、英語を使った TV commercial と日本語の TV commercial との文化的差異を学ぶことで、海外の文化並びに日本の文化に目を向けるきっかけとなると考える。

次に、「エシカル商品」という題材について述べる。消費者庁によると、エシカル消費とは、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動をおこなうことである。そして、エシカル商品とは人や社会、環境を意識して作られた商品のことである。それらは、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、特にゴール12「つくる責任つかう責任」の目標達成に深くかかわる事柄である。

本単元では、前述の SA の商品広報 TV commercial に取り組んだのち、エシカル商品の TV commercial に取り組むが、こういった商品の PR のための TV commercial を作成することで、より、近年世界的に問題となっている環境問題や倫理問題に目を向けさせる。中学校学習指導要領解説(外国語編)においても、「英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、(中略)…などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮すること」として、「広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと」が観点の1つとしてあげられており、まさに TV commercial は生徒の興味関心に即しており、エシカル商品のコマーシャルをすることで国際社会と向き合うきっかけになると言えよう。

(2) 生徒観

本校2年生の生徒は、1年生の頃より様々な言語材料を通して学習をしてきた。1年生の時は、「自己紹介」「Book review 作成」「レシピ作成」「日本の学校生活や文化の紹介」等、2年生の1学期には「Job counselor として顧客のスキルと仕事をつなぐためのスピーキング活動」等である。生徒の成果物を比較すると、Writing の活動においては、「自己紹介」「レシピ」「Book review」等のジャンルや言語使用の場面を考慮した文章を書くことができるようになってきている。例えば、資料1は日記を書いているが、narrative な書き方という特徴を踏まえて事実と感情を交えながら書いている。資料2は、レシピであるが、情報を伝えるというレシピの特徴を踏まえて、より端的にわかりやすく書いている。

資料1

Day: Date (25th Dec

"Christmas party"

We all 13 people brought foods and held a party. Chicken, cream stew, croquettes, salads, canapés, and many other dishes were lined up on the table. After the meal, a delicious apple tart made by my mother came out. All were very delicious. We also played bingo. We each brought prizes for bingo. I got Chip and Dale mug and My Neighbor Totoro handkerchief. It was the first time in 3 years that we had a party of more than 10 people like this because of COVID-19. It was a really fun day!!



canapés

foods

apple tart

資料2

~mapo tofu~



Ingredients

- plant based meat 15g
- aseptic packaging 125g
- salt and pepper to taste
- green onion 5g
- garlic to taste
- ginger to taste
- chili bean paste 3g
- sweetened soybean paste 3g
- miso 3g
- soy sauce 6g
- sugar 3g
- water 75cc
- potato starch 3g

cookware

- pot
- bowl
- kettle
- scale
- heat resistance plastic bag

steps

- ① Pour 30cc water into the kettle. Bring it a boil. Put it in the bag.
- ② Put plant based meat into ①. Wait it for 10 minute.
- ③ Pour half a pot of water. Bring it a boil.
- ④ Put the other materials in another heat resistance plastic.
- ⑤ Put plant based meat into ④. (after ②)
- ⑥ Pull out air. Bind the package at the top.
- ⑦ When the water boils put it in a heat resistance plastic bag and heat it for 30 minutes. (It is better to move the bag and mix it)

また、語彙・文法や Listening・Reading についても、ある程度の accuracy を獲得することができている。実際、本校生徒が毎年行っている英検 IBA (Speaking は除く・Writing は文法・単語問題のみ) の結果によると、2023年4月の段階で、学年146人中、ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) B 以上が11名、A2レベルが37名、A1レベルが93名、Pre Aレベルが5名である。文部科学省が教育振興基本計画において、中学校卒業段階で CEFR の A1 レベル相当以上、高等学校卒業段階で CEFR の A2 レベル相当以上を達成した中高生の割合を5割以上にすることを目標としていることから、相当程度の英語運用能力が Speaking 以外については獲得できていると考えられる。ちなみに、前年度同じ生徒を対象にした英検 IBA では、A2レベルが12名であり、Pre Aレベルが43名であったことからこの1年での伸びを確認できる。

しかし、昨年度行った Speaking (発表) のパフォーマンステストと Writing のパフォーマンステストを比較すると、Writing の平均が 5.854 に対して Speaking の平均が 4.924 (ともに8点満点) と Speaking については言語運用能力がやや低くなっている。Speaking の評価項目は、IB language acquisition の評価項目である、①語彙、②文法の正確さ、③発音と抑揚、④情報を明確かつ効果的に伝達できる、の4点であるが、特に④の情報の明確かつ効果的な伝達に苦手意識を持つ生徒が見受けられる。生徒の Speaking テストの後の振り返りからも資料3のように、発音のほかに情報をいかにして聴衆に伝達できる

今回のスピーチテストでは原稿に細かい情報が足りなかったことと、発音がカタカナ英語だったことが反省点です。
また「食物アレルギー」という問題自体、まだ歴史が浅くて社会的問題に挙げるには及ばなかったとこのスピーチが終わって少し思いました。
なので次のテストなどで題材を決めるときには誰もが納得できるメジャーなものにしようと思いました。そして今回の反省を活かすために、メディアリテラシースキルを活用して正しい情報を必要な分まとめられるように頑張ります。

資料3

のかということが課題と感じている生徒も多くみられる。そこで、本単元では、TV commercial と Presentation という2つの Speaking 活動を通して、情報を明確かつ効果的に伝達する力を養わせたい。

(3) 指導観

中学校学習指導要領の外国語科の「目標」には、「コミュニケーションを図る資質・能力」という文言が出てくる。第二言語習得論において諸説あるが、Richards(2010)によると、Communicative competence は① grammatical competence, ② sociolinguistic competence, ③ discourse competence, ④ strategic competence に分けられる。そして、そのうち sociolinguistic competence とは、“knowledge of the

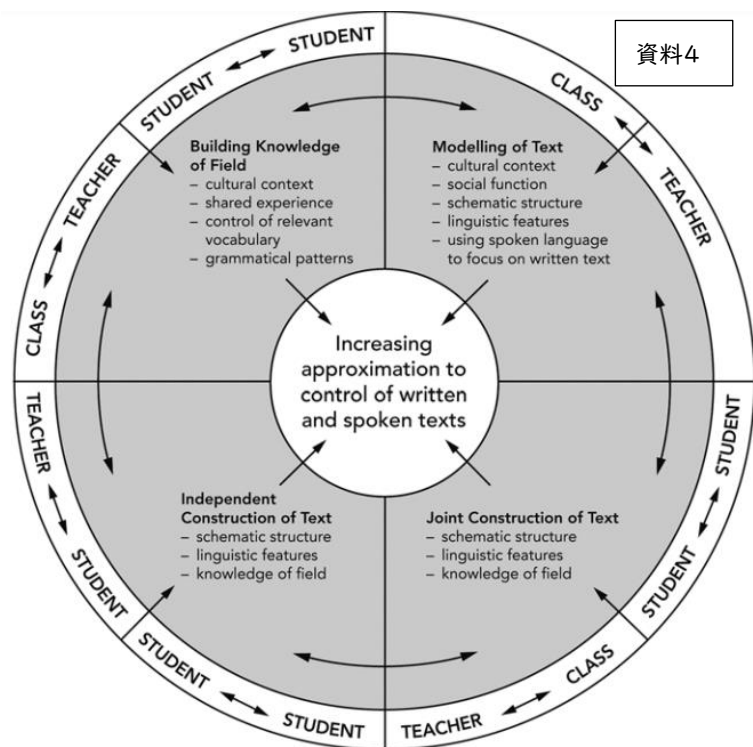
relationship between language and its nonlinguistic context, knowing how to use and respond appropriately to different types of speech acts”とある。本単元対象生徒は、前述のように情報をいかにして聴衆に伝達できるかに課題を抱えているため、この4つの competence のうち、まさにこの

sociolinguistic competence を養わせたいと考えている。では、sociolinguistic competence を育成するための指導方法はどのようにするのか。Street & Leung(2010) は、

“there are socially and culturally recognized types of text that carry a good deal of power. … One can find these powerful texts at different levels of society and in different institutional domains. These texts tend to conform to genres which are conventional structures which have evolved as pragmatic schemes for making certain types of meaning and to achieve distinctive social goals, in specific settings, by particular linguistic mean” として、Genre based pedagogy について提案している。Genre-based pedagogy は Writing の指導法として本学年生徒に対しても昨年度行い、前述のようにジャンルによって、状況や読み手を意識した文章を書くことができるようになってきている。また、Burns(2022)が “Genre-based pedagogy, based on social and functional theories of language and language learning, developed from and has been widely used in the teaching of writing. However, the notion of genre and the principles of genre-based pedagogy are also powerful tools for the teaching of speaking to second language learners.” と述べ、Writing の指導法とされる Genre-based アプローチの Speaking 指導での有用性について触れているように、本学年生徒に対しても、Genre-based のアプローチを Speaking において取り入れることで、Speaking における sociolinguistic competence の育成に有効ではないか考えた。そこで、本単元では、Burns & Joyce(1991, in Hammond et al.,1992)が提案する genre-based pedagogy の teaching-learning cycle を取り入れ指導をする。(資料4)

具体的には、これまで扱ったことのないジャンルである TV commercial とコンペのためのプレゼンを本単元では扱うため、Building Knowledge of Field Stage では、これまで取り組んできた「自己紹介」や「文化の紹介のスピーチ」との言語・内容両面からの違いや特徴を分析する。The Modelling of Text Stage では、特に TV commercial について、海外の commercial を教材として使って、使用語彙や文法の特徴を考えさせる。そして、At the Joint Construction stage では、それまでの Stage で獲得した語彙や文法を作成しようとしている Speaking のジャンルに合わせて使用できるように指導する。そして、Independent Construction of Text Stage では、生徒が自立してジャンルに合った Speaking を行う。

また、前述のように、本単元のジャンルは TV commercial とそのプレゼンである。そこで、Modelling of Text Stage では、技術家庭科と team teaching をすることにより、よりジャンルについての特徴を考察したり、その



ジャンルの内容として知っておくべき景品表示法等に触れながら、より authentic な活動になるように指導する。最終プレゼンにおける評価規準においても、内容面に技術家庭科の観点を入れるようにする。

なお、最終評価の場面設定等は以下のようになることを Building knowledge stage で生徒に示すことで、より Sociolinguistic competence の育成を図りたいと考えている。また、本校では、技術家庭科・家庭分野の授業において、エシカル消費を全ての内容項目の中で取り入れている。この土壌を活かし、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目指したい。

G(ゴール):意味のあるメッセージを含んだコミュニケーションをすることで、グローバル化が進む世界において「人が環境に与える影響」について人に考えさせ、持続可能な生活様式について考えるきっかけを与える。

R(役割) :世界環境広告機構の会議に出席する日本代表の広告代理店

A(聴衆) :世界環境広告機構会議に出席する他国の政府関係者ならびに他国の TV 局関係者

S(状況) :世界環境広告機構の会議では、世界各国における環境問題についての議論と啓蒙活動を行っている。その会議に出席し、自分たちが作成した TV commercial を提案し、その制作背景についての説明を行うことで、自分たちの制作した TV commercial を採用してもらえるためのプロモーションを行う。

P(成果物):エシカル商品売り込みのための1分程度の TV commercial を作成し、それを見せながら、環境問題についての現状や、作成した TV commercial が聴衆が環境問題に対して行動するきっかけとしてどのように役に立つのかを3分程度で口頭発表する。

4.評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと【発表】	<p>【知識】 時制(主に現在形,過去形,未来形,現在完了形)の特徴やきまりを理解している。 比較級の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技能】 社会的な話題(環境問題など)について考えたことや感じたこと、その理由などを、時制や比較級などを用いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>世界環境広告機構の会議に参加をして、自分たちの作成した TV commercial をプレゼンし、環境問題への啓発を図るというコミュニケーションを行う状況に応じて、環境問題という社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて、伝えている。</p>	<p>外国の人に環境問題についての理解し、興味を持ってもらえるように、日本と英語の TV commercial の特徴の文化的差異に対する理解を深め、聞き手である外国の人に配慮しながら主体的に英語を用いて伝えようとしている。</p> <p>TV commercial とそのプロモーションのプレゼンというジャンルにおいて、その特徴に留意しながら聞き手である海外の人に伝わりやすくなるように配慮しながら主体的に英語を用いて伝えようとしている。</p>

5. 単元の指導計画(全28時間) *詳細はユニットプランナーを参照

時間	学習内容 ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1	<p>■探究テーマを通して単元の目標を理解する。</p> <p>■世界で問題となっている環境問題についての資料を読んだり聞いたりして、概要を把握する。</p> <p>①環境問題の資料を読み、書き手の伝えたいことの概要を捉える。</p> <p>②読んだ資料について、グループのメンバーと自分の意見を伝える。</p>	環境問題の資料を読んでもわかったこと、自分の意見を相手に伝えようとしている。			●	観察
2~4	<p>■環境に書かれた資料を読み、どのような言語材料が用いられているかを理解する。</p> <p>①前時の資料をもう一度読み、どのような時制が使われているか考える。</p> <p>②現在形、過去形、未来形の復習と現在完了進行形の構造の意味と構造を理解する。</p>	時制の特徴やきまりと文章の内容や構成との関係性について理解している。	●		●	ワークシート
5~7	<p>■Lesson3 Every Drop Counts (Warka Water project について) を読んだり聞いたりして、概要を把握し、考えたことや感じたことを伝え合う。</p> <p>①教科書本文を読んで、書き手のもっとも伝えたいこと(要点)をとらえる。</p> <p>②教科書本文の音読練習を行う。</p> <p>③教科書を読んでわかったこと、自分の意見をペアに伝える。</p>	教科書本文を読んで、分かったことや自分の意見をペアに伝えようとしている。			●	観察
8~11	<p>■Lesson4 Uluru (オーバーツーリズムについて) を読んだり聞いたりして、概要を把握し、考えたことや感じたことを伝え合う。</p> <p>①オーストラリアと水問題について資料を読んで概要を把握する</p> <p>②教科書本文を読んで、書き手の最も伝えたいこと(要点)をとらえる。</p> <p>③教科書本文の音読練習を行う。</p> <p>④オーストラリアの環境問題について</p>	資料や教科書を読んでも、分かったことや自分の意見をペアに伝えようとしている。			●	観察

	わかったことや自分の意見をペアに伝える。					
12	<p>■SA (Service as Action)における起業体験のテーマと環境問題について *総合学習とのコラボ</p> <p>①SA で決定した起業内容にかかわる環境問題について資料を読み, 分かったことや考えたことを英語で伝えあう。</p>	自分たちが決定した企業内容にかかわる環境問題等について, 簡単な英語を用いて意見の交換をしようとしている。			●	観察
13~ 14	<p>■SA (Service as Action) の広告方法について *技術家庭科とのコラボ</p> <p>①Communication にはどのようなジャンルがあるのかを考える</p> <p>②広告にはどのようなジャンルがあるのかを考える</p> <p>③TV commercial のジャンルの内容面や伝え方の特徴について理解し, 口頭で意見をだす。</p>	TV commercial というジャンルの特徴について気づいたことを伝えようとしている。			●	観察
15	<p>■コマーシャルにおける異文化理解</p> <p>①日本のコマーシャルと海外のコマーシャルを見比べ内容面・言語面の特徴を捉える</p>	日本と英語圏の国とのコマーシャルの言語的特徴をとらえようとしている			●	ワークシート
16~ 17	<p>■比較級・最上級の理解</p> <p>①比較級について理解し, 使う</p> <p>②最上級について理解し, 使う</p>	比較表現の特徴について理解している	●			ワークシート
18~ 20	<p>■SA 起業体験に向けての TV commercial を作成する。</p> <p>①SA で出す自分のクラスの店舗についての TV commercial を作る。</p> <p>②TV commercial を全学級に流し, 伝わり方についてのアンケートを取る。</p>	TV commercial というコミュニケーションの状況を鑑みながら, 動画を作成しようとしている。		●	●	ワークシート
21~ 24	<p>■環境問題に関する TV commercial を作成する。</p> <p>①SA の TV コマーシャルの分析をし, 改良点を踏まえて, エシカル商品に関するコマーシャル作成を行う。</p> <p>②コマーシャルを売り出すためのプレゼン内容を考え, 口頭練習を行う。</p>	TV commercial というコミュニケーションの状況を鑑みながら, 時制や比較を含む必要な語彙や文法を使用して動画を作成している。	●		●	観察

25 ★本時	<p>■エシカル商品に関する TV commercial 売り込みのためのプレゼン</p> <p>①エシカル商品についての TV commercial と、その背景である環境問題をグループで口頭発表する。</p>	<p>・環境問題について、考えたことや感じたこと、エシカル商品作成の理由などを、簡単な語句や文を用いて、明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話している。</p> <p>・エシカル商品についての TV commercial をプレゼンし、エシカル商品の情報について、明確かつ効果的に伝えようとしている。</p>		●	●	観察
26	<p>■環境問題に関するプレゼンの練り直しと編集</p>	<p>プレゼンを時制や必要な語彙や文法を使用して動画を改良しようとしている。</p>			●	観察
27 28	<p>■個人発表（総括的課題）</p> <p>①TV commercial の説明とその背景である環境問題について、個人で口頭発表する。</p>	<p>環境問題について、考えたことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて、明確に伝えている。</p>	○	○	○	パフォーマンス評価

●・・・形式的評価（指導に活かす評価） ○・・・総括的評価（記録に残す評価）

6. 本時の展開

(1) 本時の目標

・「環境問題の解決のために考案したエシカル商品を売り出すための TV commercial の作成とそのプレゼンをすることで環境問題への啓発を図るというコミュニケーションを行う」という状況に応じて、環境問題という社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、communication の媒体による目的・聴衆の違いを考慮に入れながら、簡単な語句や文を用いて、伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

・世界環境広告会議に参加をして、自分たちの作成したエシカル商品についての TV commercial をプレゼンし、環境問題への啓発を図るというコミュニケーションを行う状況で、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて、明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話している。

・世界環境広告会議に参加をして、自分たちの作成したエシカル商品についての TV commercial をプレゼンし、環境問題への啓発を図るというコミュニケーションを行う状況で、エシカル商品の情報について、明確かつ効果的に伝えようとしている。

(3)本時で発揮されるグローバル市民性について

令和5年度より本学附属池田地区では、研究テーマを「グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成—グローバル市民性が育つ学びをつくる—」と設定し、今年度は、グローバル市民性を池田地区として定義づける1年としている。では、グローバル市民性とは何だろうか。定義づける上で、また本時に発揮されるグローバル市民性について記述するにあたり、ここで少し考察を加える。

グローバル市民性(Global citizenship)をめぐる議論は、政治学、政治思想、国際政治、国際関係論、社会学、教育学と多岐にわたる(山田 2010)。国際社会においてもグローバル・シティズンシップ教育に関する提言が次々になされている。UNESCO(2014)は社会・政治・文化・経済・環境の分野における地球的課題を理解し解決する上でのグローバル・シティズンシップ教育は、より公正で平和で、包摂的で安全で持続可能な世界の確保のために学習者が必要とする知識、スキル、価値、そして態度を養う枠組であるとした。また社会的、政治的、文化的、経済的、環境的な領域におけるグローバルイシューの理解や解決、国際的な協調や社会的変容を促す態度の獲得をその目的として挙げている。また、国際 NGO のオックスファム(Oxfam)は Global citizenship の条件として「世界市民としての役割を意識し、多様性を尊重し、世界がどのように動いているのかを理解し、社会正義に情熱をもってコミットし、ローカルからグローバルといった幅広い段階でのコミュニティに参加し、世界をより公正で持続可能な世界に向けての行動する、自らの行動に責任をもつ」をあげている。

では、学習指導要領の中でグローバル市民性はどのように位置付けられるのか。この点については、石森(2013)がグローバル市民性について、アウトカム中心アプローチによる授業設計とアセスメントを提唱している。(資料5)そこで、学習指導要領との関連性から、本時に発揮されるグローバル市民性についての定義付けについてこの資料に準拠したいと考える。この資料に基づいて、本単元をグローバル市民性という観点からみると、2番の「人権・環境・平和・持続可能な開発等について主な例を出して簡単に説明できる」や14番の「自分の考えを(言語を含めた)様々な方法で表現することができる」、18番の「情報にアクセスし必要な情報を収集し、それを目的の達成のために活用することができる」といったものが発揮できるものとする。

カテゴリー	質問	質問内容	資料5
知識・理解	地球的課題	1	人権・環境・平和・持続可能な開発等について用語の意味を理解している
		2	人権・環境・平和・持続可能な開発等について主な問題を例に出して簡単に説明ができる
		3	グローバルな課題が複雑に絡み合っていることを知り、何か例を出して説明できる
		4	地球的課題の解決のためのさまざまな取り組みや活動について知っている
	多様性・多文化社会	5	自分と人々との共通点・相違点に関心を持ち、それらを見出すことができる
		6	地域・国・世界の多様性(文化・価値観・信条・アイデンティティ等)を認識できる
		7	さまざまな文化を持つ人が暮らす社会(多文化社会)の現状を把握し、共に生きるための課題を理解している
	グローバル社会・相互依存	8	世界の国々の目に見えないつながりを意識し、グローバル社会の現状の例を挙げることができる
		9	いろいろな分野でのグローバル化社会の功罪(よい面・悪い面)を述べることができる
		10	世界の問題を身近な事柄と結びつけて具体的に考えることができる
技能・スキル	批判的思考・問題解決	11	他者の意見に耳を傾け、それらに対する自らの意見をまとめ、表現できる
		12	偏見や固定観念を自覚し、冷静な判断ができる
		13	一つの事柄に対し、肯定側・否定側などいろいろな側面から考えることができる
	コミュニケーション・協働	14	自分の考えを(言語を含めた)様々な方法で表現することができる
		15	自分が学んだことや意見を効果的に伝えること(プレゼンテーション)ができる
		16	全体の中での自らの役割を認識し、他者と協力しながら課題に取り組むことができる
		17	異なる意見に出会っても、それを聞いて自らの考えを再構築し、合意することができる
	情報収集・活用	18	情報にアクセスし必要な情報を収集し、それを目的の達成のために活用することができる
		19	課題解決のためのテーマやプロジェクトを設定し、自ら調べ分析できる
		20	メディアや与えられた情報を冷静に見て判断する目を持つことができる
姿勢・態度・価値観	自己理解・自己認識	21	自らの長所・短所を理解し、よい点を伸ばそうとする
		22	自分自身を大切に思い、自分自身の生き方を探ることができる
		23	困っている人々の問題を自分の問題に置き換えて、真剣に考えることができる
	異文化や多様性の尊重・寛容	24	考えや意見、タイプの異なる周囲の人とも協力するよう努力できる
		25	自分の心に壁を作らず、社会的状況・家庭環境・民族・宗教等が異なる人ともコミュニケーションできる
		26	オープンマインドを持ち、さまざまな違いを認め、その違いを肯定的に受け止めることができる
	地球市民の自覚と責任、行動への意欲	27	地球規模の問題を自覚し、自分の生活(ライフスタイル)を見直すことができる
		28	身近なプロジェクトや活動の計画、話し合いに積極的に参加できる
		29	学んだことを周りに伝えたり発表したりし、計画実行のために他者と協力して行動できる
		30	より良い未来をイメージし、それに対してすべきことを考え、実行できる

(4) 展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 8分	<p>1. Warmer (Pair talking) Make sure the statement of inquiry (1) What environmental issues do recently occur? (2) What is the good way to persuade people to buy ethical products to tackle the environmental issues?</p> <p>2. Lead-in (Teacher-Students) (1) What kind of communication ways do we have? (2) What are the features of TV commercial?</p>	<p>・探究テーマから「環境」についての導入に入りやすいように話題を設定する。 ・語彙の確認をする。</p> <p>・TV commercial のジャンルとしての形式的、内容的特徴について、確認する。内容的特徴については、技術家庭科の教員との TT で行う。</p> <p>・TV commercial やコンペで使用する語彙の確認をする。</p>	
展開 32分	<p>3. Understanding the GRASPS and Assessment Criteria</p> <p>4. Prepare for the presentation in a group</p> <p>5. Presentation (3mins*6groups)</p>	<p>・プレゼンをする状況設定・役割等の確認をすることで、より状況に応じた言語の使用ができるようにする。</p> <p>・プレゼンの内容の評価のポイントについては技術家庭科の教員より説明をする。</p> <p>・生徒の司会を立て、プレゼンを行わせる。プレゼンはグループで行い、プレゼンの最後には質疑応答を行う機会を設ける。聞いている生徒は評価用紙をもとに評価を行う機会を設ける。また、参観者にも評価をお願いする。</p>	<p>観察 思・判・表 については 評価用紙を用いる</p>
まとめ 10分	<p>6. Evaluation</p>	<p>・英語科、技術家庭科の両面から Feedback を行う。</p>	

(5) 準備物

PowerPoint, ワークシート, Chrome book

7. 参考文献

- (1) 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 外国語編
- (2) 国立教育政策研究所教育課程センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 外国語】』令和2年3月
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_gaikokg.pdf
- (3) Middle Years Programme Language acquisition guide (for use from September 2020/January 2021). International Baccalaureate
- (4) Middle Years Programme MYP: From principles into practice (For use from September 2014/January 2015). International Baccalaureate
- (5) 山田竜作(2010).「グローバル・シティズンシップの可能性—地球時代の「市民性」をめぐる」『シティズンシップの射程』藤原孝・山田竜作編.日本経済評論社.247-293 頁
- (6) 原田亜紀子(2019).「シティズンシップ教育に関する研究動向」.東京大学大学院教育学研究科紀要 第59巻
- (7) 工藤泰三(2019).「グローバル・シティズンシップの涵養を目指した CLIL 授業実践による 学習者の変容についての考察」中部地区英語教育学会紀要 48 263-270 頁
- (8) ひょうご消費生活ポータルサイト
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf13/shohiseikatsu/ethical/ethicalsyojin/info.html>
最終閲覧日:2023年8月21日
- (9) 「エンカル消費とは」消費者庁
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/about/
最終閲覧日:2023年8月21日
- (10) Lazaraton, A. (2014). Second Language Speaking. In Celce-Murcia, M., Briton, D., & Snow, M(Ed.) *Teaching English as a Second or Foreign Language* (pp 106-120). Boston: National Geographic Learning
- (11) Street. B, & Leung. C(2010) Sociolinguistics, Language Teaching and New Literacy Studies. In Hornberger.M, & McKay.S (Ed.) *Sociolinguistics and language education*(pp290-316).Croydon: CPI Group
- (12) 石森広美(2013).『グローバル教育の授業設計とアセスメント』東京:学事出版.
- (13) Richards, J., & Schmidt, R. (2013). *The Longman dictionary of language teaching and applied linguistics* (4th Ed.). Abingdon, United Kingdom: Routledge.
- (14) Burns, A.(2022). Teaching speaking using genre-based pedagogy
Retrieved August 21, 2023, from
https://www.researchgate.net/publication/359187099_Teaching_speaking_using_genre-based_pedagogy

Teacher(s)	Atsuko Torii	Subject group and discipline	Language acquisition		
Unit title	Can we sustain the planet?	MYP year	MYP3 (phase 1-2-3)	Unit duration (hrs)	27

Inquiry: Establishing the purpose of the unit

Key concept	Related concept(s)	Global context
Communication	Meaning, Message	Globalisation and sustainability Human impact on the environment
Statement of inquiry		
Communication involved a meaningful message make us think about human impact on the environment and sustainable lifestyles in an increasingly globalised world.		
Inquiry questions		
<p>Factual— What is communication?</p> <p>What kind of environmental issues do we have in the world?</p> <p>What is human impact on the environment?</p> <p>Conceptual— How can we communicate and send a meaningful message?</p> <p>Debatable— To what extent do meaningful message change human impact on the environment?</p>		

Objectives	Summative assessment	
<p>Objective A: Listening</p> <p>i. identify explicit and implicit information (facts and/or opinions, supporting details) in a wide variety of simple authentic texts</p> <p>ii. analyse conventions in a wide variety of simple authentic texts</p> <p>iii. analyse connections in a wide variety of simple authentic texts</p> <p>Objective B: Reading,</p> <p>i. identify explicit and implicit information (facts and/or opinions, supporting details) in a wide variety of simple authentic texts</p> <p>ii. analyse conventions in a wide variety of simple authentic texts</p> <p>iii. analyse connections in a wide variety of simple authentic texts</p> <p>Objective C: Speaking</p> <p>i. use a wide range of vocabulary</p>	<p>Outline of summative assessment task(s) including assessment criteria:</p> <p><u>Goal:</u> Your goal is to understand “Communication involved a meaningful message make us think about human impact on the environment and sustainable lifestyles in an increasingly globalised world.”</p> <p><u>Role:</u> You are a TV commercial creator who attends the conference of World Environmental Advertising Association.</p> <p><u>Audience:</u> Your audience are the representative of government members and TV commercial production companies from all over the world.</p> <p><u>Situation:</u> In a group, you are going to product around 1 minute TV commercial of ethical products. Then, you will make an around 3mints group presentation about your TV commercial and persuade the audience choose it to broadcast. In the presentation, you should explain the background environmental issue of TV</p>	<p>Relationship between summative assessment task(s) and statement of inquiry:</p> <p>The products of the summative assessment are making TV commercial related to environmental issues and make and have the presentation about them.</p> <p>Through making and presenting these products, students will think about global problems and what they can do.</p> <p>Students will have a service as action in the middle of the unit. So, they will try to think what they can do for the environmental issues gradually.</p> <p>Through these tasks, students will inquire about the statement of inquiry: Communication and a meaningful message makes us think about human impact on the environment and sustainable lifestyles in an increasingly globalised world.</p>

- ii. use a wide range of grammatical structures generally accurately
- iii. use clear pronunciation and intonation in a comprehensible manner
- iv. communicate all or almost all the required information clearly and effectively

Objective D: Writing

- i. use a wide range of vocabulary
- ii. use a wide range of grammatical structures generally accurately
- iii. organize information effectively and coherently in an appropriate format using a wide range of simple cohesive devices
- iv. communicate all or almost all the required information with a clear sense of audience and purpose to suit the context

commercial and why you think your TV commercial is effective for sustainable lifestyle.

Production: You will have 3 minutes presentation.

You need to write about 100 words journal. (Phase 3: 150 words)

Standards: You will be judged by Criteria C and D.

For Criteria A and B, the students will have listening and reading exam.

Approaches to learning (ATL)

In order for the students to make a presentation about environmental issues, they need to access information to be informed and inform others. (ATL category: Research, ATL skill cluster: Information literacy skills)

In order for the students to make a TV commercial, they need to understand the impact of media representations and modes of presentation. (ATL category: Research, ATL skill cluster: Media literacy skills)

In order for the students to make a TV commercial, they need to create original works and ideas; use existing works and ideas in new ways. (ATL category: Thinking, ATL skill cluster: Creative thinking skills)

In order for the students to mention the human impact on environmental issues, they need to use variety of media to communicate with a range of audience. (ATL category: Communication, ATL skill cluster: Communication skills)

Action: Teaching and learning through inquiry

Content	Learning process		
1. Understanding the statement of inquiry (1 hour) (1) Think and share the ideas of good communication	Learning experiences and teaching strategies 1. Understanding the statement of inquiry <u>Factual question: What is communication?</u>	Formative Assessment	Differentiation • For slow learners who have difficulty with their listening, reading, writing or speaking skills, I will

<p>2. Knowing about the environmental issues (8 hours)</p> <p>(1) Read the article and listen to the news about environmental issues and understand the contents.</p> <p>(2) Share the opinions about environmental issues with classmates.</p> <p>3. Understanding the grammatical structures about the reading contents related to environmental issues. (4 hours)</p> <p>(1) Understand the difference between present, past, future, and present perfect tense.</p> <p>(2) Understand the structures of comparative sentences.</p> <p>4. Making a TV commercial about Service as Action (Ethical company) (7 hours)</p> <p>(1) Think what we can do for global issues.</p> <p>(2) Think what kind of advertisement is effective for conveying the meaningful</p>	<p>(1) The students will think and share the ideas of good communication.</p> <p>(2) The students will think the characteristics of TV commercial genre.</p> <p>(3) Through these activities, the students will understand the impact of media representations and modes of presentation. (ATL category: Research, ATL skill cluster: Media literacy skills)</p> <p>2. Knowing about the environmental issues</p> <p><u>Factual questions:</u></p> <p><u>What kind of environmental issues do we have in the world?</u></p> <p><u>What is human impact on the environment?</u></p> <p>(1) The students will read the article and listen to the news about environmental issues and understand the contents.</p> <p>(2) The students will share the opinions about environmental issues with classmates.</p> <p>(3) Through these activities, the students will access information to be informed and inform others. (ATL category: Research, ATL skill cluster: Information literacy skills)</p> <p>3. Understanding the grammatical structures about the reading contents related to environmental issues.</p>	<p>I will observe what the students understand and what they have not, and give more cues to them.</p> <p>Students will have opportunities to check their comprehension in pairs and/or groups.</p> <p>I will check whether the</p>	<p>adopt a lot of pair work or group work and make opportunities for the slow learners to be helped by their peers.</p> <p>• For fast learners whose English proficiency level is high, I will prepare more tasks that students can think deeply and make better ones and let them choose the assignment which is suitable for themselves.</p>
--	---	---	--

message about global issues.

(3) Know the characteristics of TV commercial (With Design teacher)

(4) Know the difference between Japanese TV commercial and English spoken countries' TV commercial

(5) Make a TV commercial

(6) Show a TV commercial to other graders and get the feedback.

5. Understanding the ethical products and making the TV commercial

- (1) Think what environmental issues to choose
- (2) Make a TV commercial
- (3) Make a presentation to promote TV commercial
- (4) Presentation
- (5) Feedback and revise the presentation

6. Summative task

Conceptual question: How can we communicate and send a meaningful message?

- (1) The students will read the article about the environmental issues and analyse the sentence structures.
- (2) The students will review present, past, and future tense.
- (3) The students will learn form, usage, and meaning of present perfect tense and understand the difference from past tense.
- (4) The students will learn form, usage, and meaning of comparative sentences.
- (5) The students will make sentences using various tenses and comparative sentences.

4. Making a TV commercial about Service as Action

Conceptual question: How can we communicate and send a meaningful message?

- (1) The students will think they can do to tackle the global issues and what kind of company they will open.
- (2) The students will think what kind of advertisement is effective for conveying the meaningful message about global issues and persuade customers to buy their products to solve the environmental issues.
- (3) The students will understand the characteristic of TV commercials from both language perspective and "design"

students acquire the grammatical structures or not by checking the worksheet. If the students do not understand or use the sentence structures, I will give the students more tasks to practice more.

I will give the feedback for the students.

	<p>perspective. (Design teacher will also join the lesson)</p> <p>(4) The students will understand the difference between Japanese TV commercial and English spoken countries' TV commercial. And think what kind of TV commercial is effective for advertising Service as Action shops.</p> <p>(5) The students will make a TV commercial.</p> <p>(6) The students will show a TV commercial to other graders and get the feedback.</p> <p>(7) Through these activities, the students will understand the impact of media representations and modes of presentation. (ATL category: Research, ATL skill cluster: Media literacy skills)</p> <p>5. Understanding the ethical products and making a TV commercial</p> <p><u>Debatable question: To what extent do meaningful message change human impact on the environment?</u></p> <p>(1) The students will choose an environmental issue to introduce. They will also think what kind of ethical product is effective for tackling the issue.</p> <p>(2) The students will make a TV commercial in a group.</p> <p>(3) The students will make a presentation to promote TV commercial.</p> <p>(4) The students will have a presentation in a group.</p>		
--	--	--	--

	<p>(5) The students will get feedback and revise the presentation.</p> <p>(6) Through these activities, the students will create original works and ideas; use existing works and ideas in new ways. (ATL category: Thinking, ATL skill cluster: Creative thinking skills)</p> <p>6. Summative task</p> <p>(1) The students will have a presentation about environmental issues by themselves and understand the statement of inquiry.</p>		
--	---	--	--

Resources

- Lesson 3 “Every Drop Counts”, Lesson 4 “Uluru” NEW CROWN ENGLISH SERIES 2
- Ana de Castro (2021). English MYP by Concept 4&5, “*module 5: Can we sustain the planet?*”. Hodder Education.
- Saving water (<https://learnenglishkids.britishcouncil.org/read-write/reading-practice/level-3-reading/saving-water>)
- Planet Earth (<https://learnenglishkids.britishcouncil.org/listen-watch/short-stories/planet-earth>)
- Chrome book, Loilo note

Reflection: Considering the planning, process and impact of the inquiry

Prior to teaching the unit	During teaching	After teaching the unit
<p>Students have learned SDGs in previous years during individual and societies lessons or design lessons. In this unit, they will communicate with peers and teachers and exchange their ideas about issues</p>		

related to SDGs especially environmental issues. For the summative task, the students will make a TV commercial to promote ethical products that can tackle the environmental issues. During making the TV commercial, the students will understand the characteristics of TV commercial as a media. Through these activities, they will strive to be thinkers and aim to take responsible action on complex problems.

